平成30年度　高生中学校通信
２　月号

輝け！　高生中

文責　校長　和田義則

受験に向かう心　先輩からのメッセージ

～過去の自分が今の自分をつくる。今頑張れば、未来の自分を変えられる。～
（3年生文章より）

現在、3年生は私立高校の受験を終え、3月6日・7日の公立高校受検に向けて最後の追い込みの時期です。自分で高校を選択・決定する大きな壁に向かい、不安と焦りの中で夢の実現のために懸命に乗り越えようとしています。そこで、今の思いをアンケートに書き、先輩としていずれ受験生となる1・2年生の後輩に伝えてもらいました。1・2年生は、先輩の思いをしっかりと受けとめて、3年生とのお別れである希翔会で心を込めたお別れをして下さい。さらに進路に向けた勉強のことについて、先輩の声から自分自身を振り返り、これからの中学校生活に生かして下さい。
最後に、3年生諸君、共に頑張っている仲間と、先生・保護者の方等、みんなが応援しています。頑張って下さい。

受験に向けて頑張っている今の気持ち

チャンスは1回しかないので辛くて苦しいです。　今頑張ったら、卒業後にはたくさん楽しいことが待っている。それを希望に頑張る。

本当に志望校に合格できるか、すごく怖いです。でも合格した時の自分を想像して、「頑張ろう。」という気持ちで受験勉強をしています。すごくドキドキしますが、あまり落ちた時のことを考えないようにしています。”ぜったい合格する！”

1・2年生の頃に勉強をさぼっていたので、分からないことが多く焦っています。

「あと1か月なんだ。」「あと少ししかないんだ。」と公立高校に向けて焦りが増してきました。同時に、「絶対に高校に行くんだ！」という思いもさらに強くなっています。

毎日不安と焦りに押しつぶされそうになるけど、みんな頑張っているから、自分も負けないで頑張ろうと思える。

今大切にしていること

今自分の気持ちを下げる事を思ったりしないこと。

量と質！やり直しを丁寧に、わからなければ質問し、確実に理解する。睡眠時間をしっかりととる。そして入試に合わせて、毎日必ず朝6時に起きる。

他人に流されず、自分に合った勉強方法を見つけて勉強する。学問に王道なし。逃げ道をつくらずに、いやなことにも向き合う。

周りの人への感謝の気持ちを忘れないこと。「絶対に合格してやる。」という強い気持ち。

今大切にしていることは、友達です。もうすぐ卒業が近いので、友達を大切にして日々を過ごしています。

試験勉強で大切なこと

学校の課題（宿題）などで、できるだけ答えを見ない。私立高校の入試問題は、学校の課題で出たような問題がけっこうあった。

やるときはやる。休む時は休む。間違えたところはしっかり復習して、苦手を一つつぶしていく。

苦手なところを早めに克服することです。苦手やできないところをためてしまうと、段々その苦手なところが点数とかではっきり出て、焦ってしまう。

何分までやる、〇〇ページまでやる、とメリハリをつけて勉強する。周りにマンガやゲームがあると目がいってしまい、集中を乱されるので、部屋にある勉強道具以外は全て目に見えないところに片付ける。

「絶対に合格したい。」という強い気持ち。最後まであきらめない心。

1・2年生へのメッセージ

思ったより早く受験生になるから、覚悟をしっかりしておいた方がいい。　正直、「もっと1・2年生の時にやっておいたら良かった！」という後悔が自分の中で一番大きいので、苦手つぶしは早目にすることをおすすめします。

1・2年生の期末や中間から、しっかり勉強しておくことで、この時期の勉強が楽になるので、そこをないがしろにしない。過去の自分が今の自分をつくる。、今頑張れば、未来の自分を変えられる。

これから先、嫌なことがあったり、疲れることがあったりして苦労すると思います。でもそれらから逃げようとせずに、正面から堂々と立ち向かってください。逃げてしまうと、満足感を得る代わりに何の成果もえることはできません。

テストだけでなく部活でも、結果が悪くて落ち込む時もくるかもしれません。その時は、たくさん悔しがって、涙流して、ため込まないようにしてほしいです。そして、また頑張ろうと立ち上がり、良い結果を出してください。応援しています。

部活動報告
家庭部　　平成３０年度　「福原賞」（北九州市教育委員会）受賞

福原賞は、優れた社会貢献をした北九州市の小中学校の生徒に贈られる名誉ある賞です。小東山笠の炊き出し、小学生への料理指導、牧山東市民センターでの高齢者との交歓会への参加など、奉仕精神あふれる活動が認められました。おめでとうございます。